



都市ガスやLPガスなどの供給方法により、復旧までの日数に幅があります。ガスは、非常食や冷蔵庫内の食品を調理するために必要となります。

- カセットコンロ ●ガスボンベ(1本で約65分使用可能)

停電したら、冷蔵庫の中のものから食べれば、非常食の代わりになるね。



電気・ガスと比べて、復旧までに長い期間がかかっています。水は生きていくためになくてはならないものです。

水 1日の必要量(1人あたり)3リットル

※飲料と食事を作るために必要な分量です。

水はたくさん必要だね。
歯磨きや体を拭いたりするのにも必要だよね。



さらに…

地震による被害状況によっては、下水道も使用できない場合があります。
携帯用トイレの備蓄も重要です。

携帯用トイレ 1日必要数(1人あたり)5つ

※トイレの1日平均回数は大人1人5回

トイレの備蓄も必要だね。
ホームセンターや100円均一ショップでも売っているから、災害前に試しに使って、使いやすいものを備蓄しておきたいな。



防災一口メモ

市の防災情報を入手しよう!

市では災害時に、市公式ホームページ、市公式Twitter、市公式LINE、防災行政無線、安心安全メールと複数の手段でお知らせしています。

放送は状況により聞こえにくい場合がありますので、登録をお願いいたします。

また、放送内容を電話代無料で聞くことができる「防災行政無線テレホンサービス」もありますので、ご確認ください。

安全安心メール 市公式Twitter



防災行政無線テレホンサービス
0120-055-757

問合せ 安心安全課防災担当 ☎0480(92)1111 内線372・373

大地震に備えよう

電気・ガス・水道が 使えない場合の 備蓄を見直そう



地震はいつ起きるかわかりません。

災害時における生活で少しでもストレスを軽減するためには、「もしも〇〇が使えなかったら」を想定し、自分や家族にとって必要なものを備えておく必要があります。

生活に最も重要な電気・ガス・水道が使えなくなった場合の備蓄を見直しましょう。

過去の地震で復旧までにかかった日数

阪神淡路大震災
(1995年1月17日)

電気	6日
ガス	約3か月
水道	約3か月

東日本大震災
(2011年3月11日)

電気	1週間 (95.6%復旧)
ガス	約2か月
水道	約6か月半

熊本震災
(2016年4月14日)

電気	1週間
ガス	約2週間
水道	約3か月半

【引用元】兵庫県「阪神・淡路大震災の復旧・復興の状況について」令和4年2月 総務省「平成29年度版 情報通信白書」

地震による被害で電気・ガス・水道が使用できなくなった場合、皆さんは家にあるもので何日過ごせるでしょうか。

長期間分の備蓄をするためには、お金や備蓄場所の確保などの準備が必要になりますが、復旧までの日数を踏まえ、できれば1週間分の備蓄が必要です。

備蓄が必要なもの



過去の地震災害では、復旧までに1週間程度かかっています。日常的に使用するものの多くが電気で動くものばかりです。その中でも何が必要か考えてみましょう。

- 携帯用充電バッテリー ●ラジオ ●懐中電灯 ●乾電池

災害情報を得るものだけでなく、外部と連絡を取るもの、また、停電したら明かりもたいせつだね。



他にも

住宅用の太陽光発電を行っているお宅は、停電時の「自立運転機能」への切り替え方法の確認をお忘れなく!太陽光発電と蓄電池を備えているお宅は、夜間も使用できますが、蓄電池の容量で使える家電・時間を確認しましょう。